



事務局人事

このほど事務局の西田明子が退職、医学会総会・美術展の事務は大出篤が引き継ぐことになりました。

これまでタッチしていなかったので、内容はこれから検討、遺漏のないように努めますが、足らないところはご容赦ください。当分、月火と木金の9:30～17:30は出勤します。

青森市三師会的美術展に出品

9月4～5日、市民美術展示館で開催、秋元光博氏と福士盛大氏がそれぞれご家族とともに、絵画や書画など多数を出品されました。

訃報

沼口満津男氏（ぬまぐち・みつお）7月17日死去。87歳。文芸部、文芸特集号にも多数寄稿。随筆集「踊り子慕情」が日本随筆家協会の名随筆に選ばれた。

軍医としてフィリピンのミンダナオ島ダバオの陸軍病院勤務、次いで北部のカガヤン分院で終戦を迎えた。山中をさまよいつつながら生の極限を見たと言懐している「生と死のはざま」。戦犯を扱った「モンテンルパ」や戦場で犠牲となった従軍看護婦を悼んだ文など、氏の温かい人となりを反映している。また学生時代から短歌にも打ち込み「アララギ」の歌人。鹿兒島寿蔵研究に打ち込まれていました。ご冥福を心から祈ります。

邦楽部のお二人が活躍

三越劇場の「邦楽祭」で活躍されている前村八重子先生と山崎律子先生は、9月22日、国立劇場での「杵勝会」に出演されました。八代目杵屋勝三郎襲名披露の長唄演奏会で、前村先生は「安達ヶ原」を、山崎先生は「夜遊楽」を演じられました。さらに山崎先生は25日、藤間升之輔として浅草公会堂で開かれた師匠藤間勘升師の湊会に出演。清元「流星」で流星役を、続けて長唄「京鹿子娘道寺」でも踊られました。

音大修了記念コンサートを開く

洋楽部の鈴木美根子さんが、9月26日、ルーテル市ヶ谷ホールで、桐朋学園大学終了記念のコンサートを開きました。お

嬢さんたちがピアノ伴奏や司会進行を務められ、昔のコーラス仲間も共演。モーツアルトの「フィガロの結婚」やドニゼッティ、プッチーニのオペラのアリアをたっぷりと聴かせてくれました。

リサイクル開催と歌集を出版

10月17日のファミリーコンサートに出演される大坪公子先生は、引き続き30日午後、三軒茶屋のサロン・テッセラにてソプラノリサイクルを開きます。鈴木さんと同じく、モーツアルトやプッチーニのオペラのアリアや、日本の中田喜直作曲の「風の子供」、野口雨情ら作詩の名曲も。また、長年研鑽を重ねてこられた短歌の第三歌集「眼にて聴く」を上梓されました。次号で紹介する予定です。